

軌道事故救助訓練で万が一に備える



立山砂防工事専用軌道(通称「トロッコ」)には、富山県が主催する「立山カルデラ砂防体験学習会」など工事関係者以外の方々が年間約2千人乗車します。

そのため、立山砂防事務所では、トロッコの事故発生時に関係機関が連携して迅速な対応を図ることを目的として、毎年本格的な「立山カルデラ砂防体験学習会」前に事故救助訓練を実施しています。今回は、チームリーダーを決め各者の役割分担を明確にし、確実な情報伝達を主眼に実施しました。訓練はトロッコ乗車中に落石による人身事故が発生したと想定し、救急車が実働参加するシナリオで、関係機関及び軌道関係受注者等50名の参加で実施しました。

- 実施日時
平成28年6月29日(水)10時00分~10時45分
- 訓練場所
訓練軌道0.8kp付近(千寿ヶ原緑地公園駐車場付近)
- 参加機関
立山砂防事務所、富山県砂防課、立山カルデラ砂防博物館、
上市警察署、立山町消防本部、軌道関係工事受注者



実働訓練の様子

落石による車輛状況確認(現場)

救急車の実働訓練(現場)



重傷者の搬出訓練(現場)



レスキューシートによる搬送訓練(現場)



レスキューカートによる搬送訓練(現場)



事故対策本部情報伝達